

《履修上の留意事項》遠隔授業のみ実施

《担当者名》宮崎充功

【概要】

本科目では、関節可動域制限や筋力低下、持久力低下といった基本的な運動障害の原因について理解するとともに、各種運動療法を実施するうえで必要となる基礎理論について学習する。

【学習目標】

基本的な運動障害の原因を理解し、目的に応じた運動療法を選択、実施できるようになるために、運動生理学および運動療法学領域基礎知識を身につける。

1. 各種運動障害の原因について、運動生理学領域の知識を用いて説明できる。
2. 運動療法の基礎理論について説明できる。
3. 各種障害に応じた運動療法について適応を判断し適切な方法を選択できる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	関節の構造と運動	関節の基本構造や分類、関節運動の基礎について学ぶ。	宮崎充功
2	骨格筋の基本構造と筋収縮の調節	骨格筋の基本構造と分類、筋収縮調節の仕組みについて学ぶ。	宮崎充功
3	神経系による随意運動の調節	運動神経の制御による随意運動の調節機構について学ぶ。 いわゆる「筋力」を規定する種々の要因を理解し、運動・トレーニングによる神経-筋機能の適応性について学ぶ。	宮崎充功
4	運動と呼吸	運動時における呼吸器系の機能と調節の仕組みについて学ぶ。	宮崎充功
5	運動と循環器	運動時における循環器系の機能と調節の仕組みについて学ぶ。	宮崎充功
6	栄養とエネルギー供給系	運動時におけるATP再合成経路、各種の栄養素を利用したエネルギー代謝の仕組みについて学ぶ。	宮崎充功
7	運動とエネルギー代謝	代謝の概念を理解し、安静時および運動時における代謝調節の仕組みについて学ぶ。	宮崎充功
8	運動療法の基礎とトレーニング理論	運動療法の基礎となるトレーニング理論について学ぶ。	宮崎充功
9	運動の種類 運動処方	適切な運動指導を行うための運動処方理論について学ぶ。	宮崎充功
10	関節可動域制限の原因と運動障害	関節可動域制限の原因および関節可動域制限による運動障害の特徴について学ぶ。	宮崎充功
11	関節可動域制限に対する運動療法	関節可動域制限に対する運動療法について学ぶ。	宮崎充功
12	筋力低下の原因と運動障害	筋力低下の原因および筋力低下による運動障害の特徴について学ぶ。	宮崎充功
13	筋力低下に対する運動療法	筋力増強のための運動療法について学ぶ。	宮崎充功
14	持久力低下の原因と運動障害	持久力低下の原因および持久力低下による運動障害の特徴について学ぶ。	宮崎充功
15	持久力低下に対する運動療法	持久力向上のための運動療法について学ぶ。	宮崎充功

【評価方法】

定期試験 100%

定期試験および追再試験実施後、個別での問合わせに対しフィードバックを行う。

**【備考】**

教科書：吉尾雅春／横田一彦 編 「運動療法学 総論」第4版 医学書院 2017年

参考書：千住秀明 監 「機能障害科学入門」神陵文庫 2010年  
市橋則明 編 「運動療法学 障害別アプローチの理論と実際」 文光堂 2014年  
玉木彰 監修 「リハビリテーション運動生理学」 メジカルビュー社 2016年

その他：指定の教科書に加え、必要に応じて学習プリントを配布する。

**【学習の準備】**

各回の授業内容および学習課題について、教科書および配布資料を基に予習・復習（講義1回あたり予習復習合わせて1時間程度）をすること。

**【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】**

（DP3）理学療法士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。

**【実務経験】**

理学療法士

**【実務経験を活かした教育内容】**

医療機関および研究機関での実務経験を活かし、理学療法治療学の基礎となる運動療法学の基本的知識を講義する。